

ウォーターニュース あまがさき



尼崎市制100周年 ロゴマーク



QRコードは機種により読みとれない場合があります。

〒660-0051 尼崎市東七松町2丁目4-16 TEL:06-6489-7402 FAX:06-6489-7403 ホームページ <http://amasui.org/>

発行: 尼崎市水道局

あますい家見学ツアー第4弾

たい しん せい きん きゅう ちよ すい そう

耐震性緊急貯水槽ってなに??

大島小学校 耐震性緊急貯水槽 設置の様子



皆さんは、災害時に水道が使えなくなった場合でも、緊急用として水道水を利用できる「耐震性緊急貯水槽」というものをご存知ですか？
尼崎市には現在6カ所に耐震性緊急貯水槽が設置されています。
今回、大島小学校の耐震性緊急貯水槽の工事に携わった工務課の馬場技手にお話を聞いてきましたのでご紹介します。

説明します。



馬場 技手

どのように給水するの？ 誰でも使えるのですか？

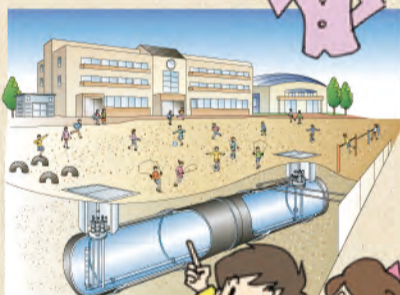


水をくみ上げるポンプを設置し、簡易給水栓を組み立てれば給水することができます。
今後は地域の皆さんが耐震性緊急貯水槽の操作ができるように応急給水訓練を実施していきます。飲料水は日常生活に欠かせないものです。地震などの災害時でも、皆さんのための飲料水が確保できるよう、これからもがんばります！

耐震性緊急貯水槽って どんなものですか？



耐震性緊急貯水槽とは、災害時に水を確保することができるタンクを兼ねた非常に大きな水道管です。通常は新鮮な水道水が流れていますが、災害時には、貯水槽と道路にある水道管が弁で遮断され貯水槽内に飲料水を確保するものです。



地面の下に貯水槽が埋まっているんだね。

地域で防災に対する準備が整えば安心できるわね。



過去に耐震性緊急貯水槽を使って訓練した様子

どれだけ水を確保できるのですか？



約100㎡の水を確保することができます。人が一日に最低限必要な飲料水は3ℓとされているので、貯水槽1基で約1万人の3日間分に相当します。尼崎市では、この耐震性緊急貯水槽を小中学校や公園など市内の6カ所に設置しています。

家庭で水を備蓄しておくことも大切ね!!



現在市内に設置されている耐震性緊急貯水槽の配置図です。今後4年間で2カ所設置する予定です。



100周年ロゴが できました!!

尼崎市の水道が平成30年10月1日に通水100年を迎えるにあたり、ロゴマークを作成しました。今後、さまざまな機会に使用して通水100周年をPRしていきます。
水道のじゃ口と水滴をモチーフに「100」という文字をデザインしました。「尼崎市水道 通水100周年」をわかりやすくアピールし、そのじゃ口には緑の葉を、水滴には笑顔の表情をつけることで、尼崎市の水に対する安全・安心を表現しています。



尼崎市水道 通水100周年 ロゴマーク

第4回 水道局の業務紹介

○ 工務課 [こうむか]

道路に入っている古い水道管を、地震に強い水道管に入れ替えることが主な仕事です。また、地震などの災害に備えて、避難場所に耐震性緊急貯水槽の設置も行っています。



工務課 大石 技術員

○ 給水装置課 [きゅうすいそうちか]

給水装置工事の申請受付や指定給水装置工事業者に関することが主な仕事です。給水装置とは、配水管から分岐した給水管やこれに直結した給水用具のことです。このほか、水道メーターや貯水槽に関することなども行っています。



給水装置課 片山 事務員

○ 管路補修課 [かんろほしゅうか]

導水管・配水管の維持管理や給水装置の修繕に関することが主な仕事です。また、市内の水圧調査や漏水調査も行っています。



管路補修課 上田 技術員

裏面もご覧ください➡

水道・工業用水道ビジョンあまがさきに基づく Ⅲ期の事業運営方針を策定しました。

■水道・工業用水道ビジョンあまがさき

平成22年度から平成31年度までの10年計画で、今後の目指すべき将来像や実現に向けた課題解決の方向性をまとめたものです。今回、このビジョンに基づき、平成28年度から平成31年度までの4年間(Ⅲ期)に重点的に取り組む項目を定めました。

■水道事業の状況

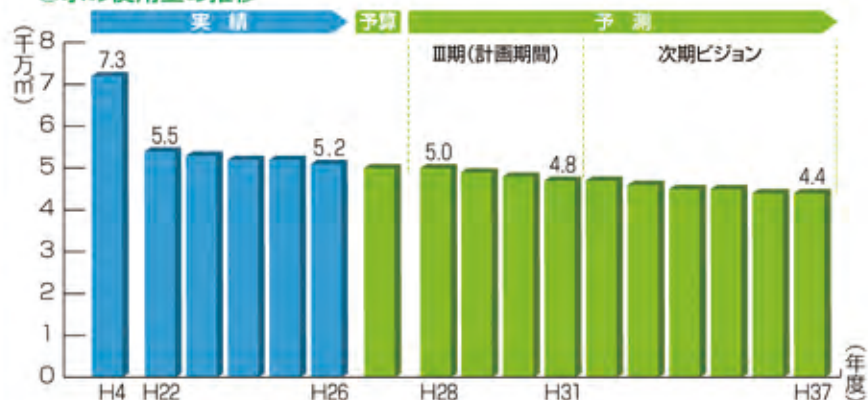
人口の減少や節水機器の普及などにより、水の使用量は減少を続けています。それに伴い水道料金収入も減少しており、今後も減少していくものと見込まれます。

また、高度経済成長期に建設した浄水場や配水管などの施設が更新時期を迎えるため、水道水を安定してお届けするために多額の更新費用が必要になります。

このため、水道事業の見通しは厳しくなっていくと見込んでいます。



●水の使用量の推移



●経営状況の推移

	Ⅲ期(計画期間)				次期ビジョン					
	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
収入(①)	9,440	9,082	8,731	8,561	8,415	8,271	8,138	7,985	7,866	7,749
支出(②)	8,721	8,536	8,480	8,393	8,530	8,432	8,466	8,698	8,571	8,594
収支差額(①-②)	719	546	251	168	△115	△161	△328	△713	△705	△845
更新費用	2,139	2,218	1,905	1,868	2,093	3,577	2,951	3,292	1,775	2,307

(百万円)

■今後4年間の取組み

今後4年間の財政収支は黒字が計上できる見込みですが、その後は厳しくなっていくと見込んでいます。このため、少しでも赤字幅や更新費用を削減するため、この4年間で重点的に取り組む項目を定めて取り組んでいきます。

【Ⅲ期の重点的な取組み】

- ・水の使用量の減少を踏まえ、過大になっている施設能力の適正化に取り組めます
- ・厳しい経営環境への対応や利便性を向上させるため、組織体制や業務のあり方の見直しを進めます
- ・平成32年度からの次期ビジョンなどを見据えた中長期的な計画を策定します
- ・今後の水道局を支える人材の育成と技術の継承に取り組めます



水道GLPの認定を取得しました～安全な水道水の証～

神崎浄水場からご家庭にお届けしている水道水は、正確で精度の高い水質検査によって水質基準に適合しているかどうか厳しく検査しています。

尼崎市水道局では、水質検査の更なる信頼性を確保するため「水道GLP」の認定に向けて取組みを進めていましたが、このたび平成27年12月24日付で公益社団法人日本水道協会から厳正な審査を経て、優良水質検査機関として認定を取得しました。

厳しく管理された体制のもと、信頼性の高い水質検査結果を示すことで、より一層安心して水道水をご利用いただけます。

今回の水道GLPの認定は、お客さまへの「安心」を提供する方法の一つです。今後も「じゃ口」までの水質管理を徹底し、水道水の品質向上へ繋げていきます。



- 【認定内容】
- 認定番号 JWWA-GLP124
 - 事業社名 尼崎市水道局
 - 水質検査機関名 尼崎市水道局技術部 神崎浄水場水質担当
 - 認定範囲 水道水・浄水 水道水質基準項目50項目 (陰イオン界面活性剤を除く)
 - 認定日 平成27年12月24日 (有効期限4年)

水道GLPとは

GLP(Good Laboratory Practice：優良試験所規範)とは、医薬品や食品衛生の分野でいち早く導入されたもので、検査機関による検査結果が正確であることを保証する仕組みです。

「水道GLP」は、水道水の水質検査に特化した信頼性確保を目的として、公益社団法人日本水道協会によって策定された規範です。国際規格であるISO9001とISO/IEC 17025の要求事項を参考にしながら、分析や試験が適正に実施されたことを証明できる基準を定めたものであり、管理上の要件と技術的要件から構成されています。認定には、同協会の「水道GLP認定委員会」による厳正な書類、現地審査を経て行われます。

けいじばん

水道の使用開始・中止など
水道局へのお申込み・お問い合わせは
水道局電話受付センター

☎06-6375-0002

毎日午前8時45分～午後5時30分まで受け付けています。
※12月29日～1月3日を除く。

- 水道の使用開始・中止のお申込み
- 名義変更のお届け
- 故障修繕のお申込み
- 口座振替・クレジットカード払いの手続きについてのお問い合わせ
- 水道に関するお問い合わせ

FAXは06-6375-0124です。

※上記の時間外・年末年始の緊急時は水道局警備室へ ☎06-6489-7400

